

南丹市教育委員会会議録

平成 27 年第 9 回定例会

(平成 27 年 9 月 16 日)

平成27年南丹市教育委員会第9回定例会会議録

1. 日 時 平成27年9月16日(水)
開会 午後3時30分 閉会 午後5時00分
2. 場 所 南丹市教育委員会議室
3. 付議事件 別紙議事日程のとおり
4. 招 集 者 委員長 林 昌 明
5. 出席委員 委員長 林 昌明
委員長職務代理 武田 義史
委 員 高屋 毅史
委 員 吉田 尋子
教育長 森 榮一
6. 欠席委員 な し
7. 事 務 局 教育次長 岸本 薫
教育参事 後藤 昌則
教育総務課長 寺田 成樹
学校教育課長 山内 紀子
社会教育課長 中川 勇夫
8. 傍 聴 人 な し

午後3時30分開会

日程1

委員長が平成27年南丹市教育委員会第9回定例会の開会を告げる。

日程2

委員長から会議録作成者に寺田教育総務課長を指名する。

日程3 報告事項

- (1) 主な行事報告等

(教育長)

- 8月22日に、日吉町生涯学習センターにおいて「第5回南丹市子どもの主張大会」を開催し、聴衆約200名の中、市内15校の発表者は、それぞれ自己の主張を発表する意義ある機会となった。
- 8月23日に、市人権啓発推進協議会と市との共催による南丹市人権講演会を園部公民館にて開催し、市民約100人の参加を得る中、人材育成コンサルタントの辛 淑玉氏による「自分流ワークライフバランス」と題した講演を行った。様々なところに潜む差別意識について事例を交えながら、男女共同参画社会の大切さを学ぶ機会となった。
- 8月25日に、第2回社会教育委員会を行い、主に社会教育施設の在り方に関する答申内容に基づいた施設整備について、とりわけ施設の機能集約の具体化について議論を深めた。なお、同日、4月21日に一斉実施した全国学力・学習状況調査の結果が国において公表された。
- 8月26日に、9月定例市議会が開会され、9月1日から3日にかけての一般質問では、6名の議員から教育委員会所管事務に係る質問をいただいた。
- 8月27日に、市教頭会議を開催し、各校からの実践レポートに基づく研究協議を行い、教頭の指導性発揮の重要性について再認識すると同時に、教頭としての自らの指導力向上へ意識を高めることができた。
- 9月3日に、南丹市いじめ防止等対策委員会を開催し、昨年度末に受けた答申を踏まえた取組状況に係る報告に基づいて協議を深めた。
- 9月7日に、校園長会議を開催し、非常変災への対応を図るため、平時からの危機管理について組織的な取組を進めるよう指示した。その他、各所管課からの所管事業に関する連絡説明を行った。
- 9月8日に、市議会総務常任委員会が開催され、一般会計補正予算案件の他、教育委員会所管の工事請負契約案件や物品購入案件について審議の上、承認いただいた。

(2) 南丹市教育委員会の後援承諾について

(事務局)

資料に基づき報告

日程4 議 事

議案第32号 南丹市幼稚園保育料条例施行規則の一部改正について

(事務局)

京都府における第3子以降保育料無償化事業費補助金の創設による第3子無償の規定を受け、本市規則について、3子無償化の対象となる範囲の定義及び納入分の還付について追加規定した改正案について説明

[質 疑] な し

[採 決]

議案第 3 2 号について委員長から委員一人一人に諮り、全員一致での承認を確認する。

議案第 3 3 号 南丹市私立幼稚園多子世帯支援費補助金交付要綱の制定について

(事務局)

京都府における第 3 子以降保育料無償化事業費補助金創設を受け、私立幼稚園に通園する第 3 子以降の園児の保護者に対する補助金交付要綱を制定することについて説明

[質 疑]

(委 員)

補助金交付の対象となる経費は何か。

(事務局)

入園料及び保育料である。

(委 員)

交付対象人数の見込み数は把握しているか。

(事務局)

10 人程度を見込んでいる。

[採 決]

議案第 3 3 号について委員長から委員一人一人に諮り、全員一致での承認を確認する。

議案第 3 4 号 平成 2 7 年度 (平成 2 6 年度対象) 南丹市教育委員会点検・評価報告書について

(事務局)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 2 6 条の規定に基づき、南丹市教育委員会における平成 2 6 年度南丹市教育の指導指針の推進施策に係る事務執行状況に関する点検・評価について、点検・評価アドバイザーによる意見を付記した資料により説明。

[質 疑]

(委 員)

博物館で実施する講座等への参加規模はどの程度か。また、市内外の参加割合はどの程度か。

(事務局)

講座毎に20人から50人までの参加を得ている。また、市外からの参加は全体の1割程度である。なお、今後は、入館者増に向けた取組として、入館料の在り方を含めた検討を進めたいと考えている。

(委 員)

図書館事業は各館毎での単一実施となっているのか。

(事務局)

オーサービジット事業等、統一的に実施しているものもあるが、基本的には各館での実施である。

(委 員)

CATVを活用した家庭学習支援事業を子どもたちはどの程度活用しているのか。

(事務局)

本事業は、市内中学3年生を対象に家庭学習を支援するものであるが現時点で活用している生徒は、視聴者としては必ずしも多くはない。

ただ、番組放送の内容をDVD化し、各学校に教材として配布することで各校の学力向上の取組を支援する体制も整えるなど、家庭学習支援とともに基礎学力の定着支援も併せもつ事業として位置づけているので、引き続き重視している。

[採 決]

議案第34号について、委員長から各委員一人一人に諮り、全員一致での同意を確認する。

日程5 その他

○主な行事予定

(事務局)

資料に基づき、主な行事予定を説明

○その他

- ・南丹市いじめ防止等対策委員会の開催状況報告
- ・京都府教育委員会スクールミーティングの実施依頼（会場：南丹市立桜が丘中学校）について報告

[次回定例会について]

(事務局)

次回定例会の日程については、他の行事を踏まえ、10月21日を軸に調整できればと考える。併せて、同日、桜が丘中学校への学校訪問を予定したいと考えている。

(委員長)

次回の日程について、ただ今の事務局の意向を踏まえ10月21日としたいがどうか。併せて、学校訪問を実施したいがどうか。

(委員)

*委員長から各委員一人一人に諮り、全員一致での同意を確認する。

(午後5時00分閉会)

南丹市教育委員会会議規則第19条第2項の規定により、ここに署名する。

平成 年 月 日

南丹市教育委員会委員長

南丹市教育委員会委員長職務代理者

南丹市教育委員会委員

南丹市教育委員会委員

南丹市教育委員会教育長

(会議録調製者)

南丹市教育委員会教育次長
